

取扱説明書
-保証書付き-

Prime
Reencle

ハイブリッド式生ごみ処理機



【SDGS】食品ロス・食品廃棄の問題と環境に与える影響

本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品を「食品ロス」と呼び、環境にも悪い影響を与えるなど、世界的に深刻な問題となっています。

深刻化している食品ロス



25億トン/年

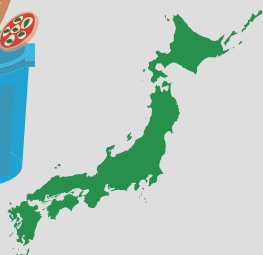
世界ではまだ食べられる食料が
25億トンも破棄に

日本だと・・・



日本の食品ロス

472万トン/年



1億3,000万人の国民全員が
お茶碗1杯分ほどのご飯を
毎日破棄しているのと同量

食品ロス削減に対する国の取り組みとして、事業者向けには「食品リサイクル法」「食品ロス削減推進法」の2つの法律が設けられており、2000年に成立した食品リサイクル法では「2000年度（547万トン）比で、2030年度までに半減（273万トン）させる」という目標を設定しています。

食品ロスによる二酸化炭素排出量：地球温暖化への影響

食品ロスは地球温暖化に大きな影響を与えています。FAOの報告によると、食品ロスに関連する二酸化炭素排出量は年間約37億トンで、これは世界全体の温室効果ガス排出量の約8%を占めています。このように、食品ロス削減が地球温暖化対策の一翼を担うことがわかります。

食品廃棄物の焼却処理：エネルギー消費と環境負荷

食品廃棄物は、多くの場合焼却処理されますが、これにより大量のエネルギーが消費され、さらなる二酸化炭素排出につながっています。また、焼却処理にはダイオキシンなどの有害物質の発生も懸念されており、環境負荷が増大しています。食品ロスの削減は、焼却処理の環境負荷を減らすことにも貢献します。

食料生産の資源消費：地球環境への悪影響

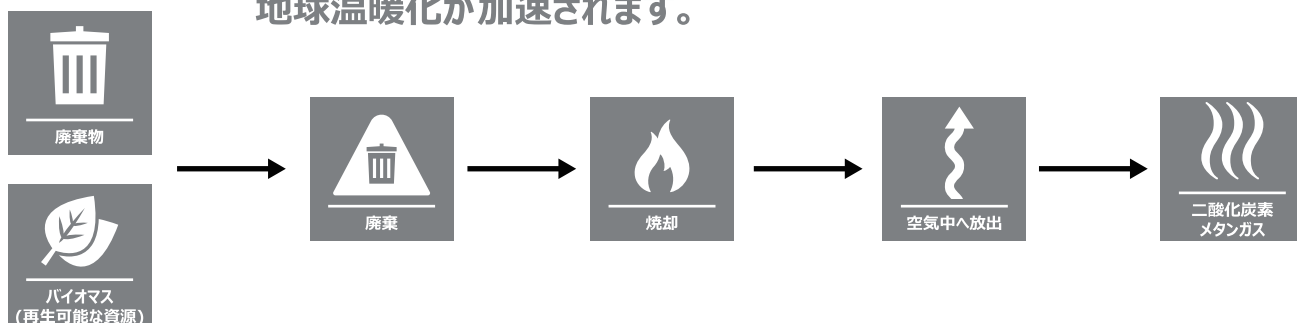
食品ロスは、食料生産に関連する資源の消費も無駄にしています。水資源や農地、化学肥料なども、生産された食料が廃棄されることで無意味になります。さらに、食料生産は森林破壊や生態系の破壊、水質汚染などの環境問題を引き起こしています。食品ロスを削減することは、地球環境に与える悪影響を抑える上で重要な取り組みとなります。

なぜ、堆肥化が推奨されるのか？

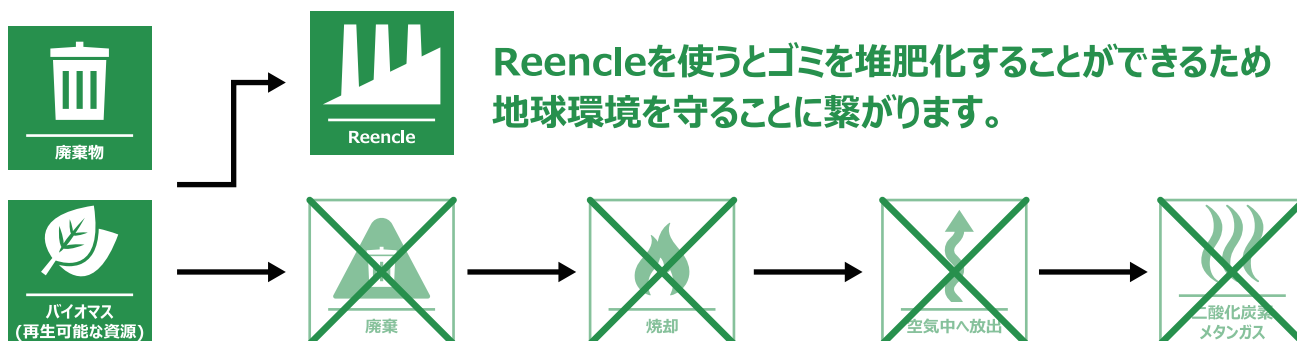
堆肥化は、国連気候変動会議(UNFCCC)によって公式に認定された炭素を削減するための政策であり、埋め立て地と比較して温室効果ガスの排出量を25倍少なくすることが可能になります。

ゴミを焼却すると

ゴミを燃やすことで大量の二酸化炭素とメタンガスが発生し地球温暖化が加速されます。



Reencle ハイブリッド式生ごみ処理機



エコで快適な生活を実現

Reencle ハイブリッド式生ごみ処理機

私たちReencleJAPANは、ゴミの分解に適した自然由来の有機微生物(バイオフィレーク)を使い、ゴミの分解・処理・堆肥化を行うハイブリッド式の生ごみ処理機です。

Reencleをお使いいただくことで、ゴミの臭いからの解放・ゴミ出しの手間が削減され、より快適な日常をお過ごしいただくことができます。

また、Reencleをお使いいただくことで食品廃棄物を減らすことができ、CO2などの温室効果ガスの排出を削減することに繋がり環境汚染を防ぎます。また、廃棄場での火災、悪臭、害虫の発生などの問題も減らすことができると評価されています。



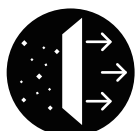
ハイブリッド式の処理方法

Reencle独自のバイオフィレーク(特許取得)がゴミを分解します。分解後は堆肥として使用することもできる環境に優しい処理方法を採用しています。



静音設計の生ごみ処理機

Reencleは静音設計であるため日常生活と睡眠を妨害しません。25dBで冷蔵庫よりも静かな音を実現しています。



4層のスマート脱臭システム

4層の脱臭を通して外部へ排出されるニオイを最小限に抑える仕組みを実装しています。



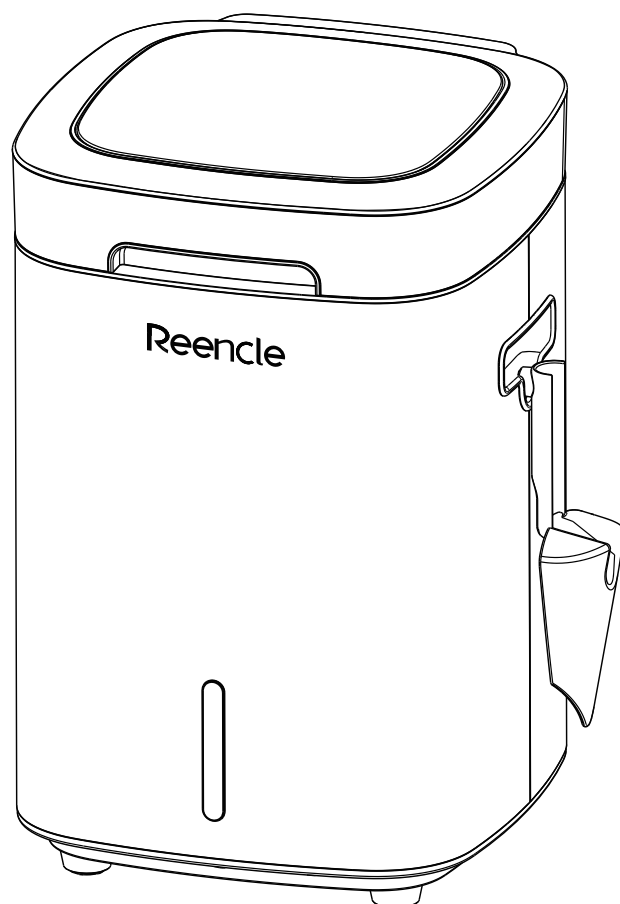
配管設置は不要

別途、配管を設置する必要がないため移動と設置が簡単です。



自動開閉センサー付き

自動開閉センサーが付いており、手足をかざすことで反応します。ゴミを手を持っているときなど、手足が不自由でもゴミの投入をスムーズに行うことができます。



Reencle

Reencle 生ごみ処理機

取扱説明書

目次

I. ご使用になる前に/使用準備

- 1. 正しい設置方法 5
- 2. ご使用前の準備 6

II. 各部の名称・ボタン表示 7

III. 使用方法

- 1. 上蓋を開ける方法 8
- 2. 奥蓋を開ける方法 8
- 3. 自動開閉センサーのオンオフ 9
- 4. 生ごみを投入してみよう！ 10
- 5. ケースに合わせた使用方法 11
- 6. メンテナンス 11
- 7. 副産物(堆肥・バイオフィーク)の取り出し 12

IV. バイオフィークの管理と堆肥としての利用について 13-14

V. 投入できるもの・できないものについて 15-19

VI. 注意事項 20-21

VII. 製品に関するよくある質問 22-24

VIII. 消耗品交換・警告アラート

- 1. 点検事項とアラート音 25

IX. 保証書

- 1. 保証書と仕様 26
- 2. 類型別補償 27

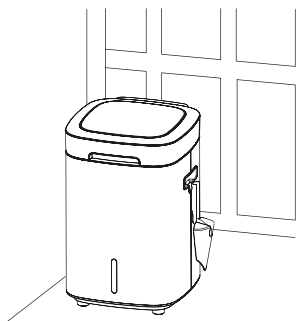
お問い合わせ

お客様の安全と製品の正しい使用のため、取扱説明書を**必ずお読みください**。この取扱説明書には保証書が付属していますので大切に保管してください。

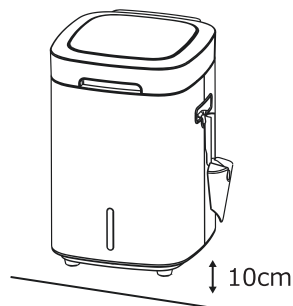
I. ご使用になる前に

1. 正しい設置方法

- 密閉空間や寒すぎる環境を避け、風通しのよい換気できる部屋に設置してください。



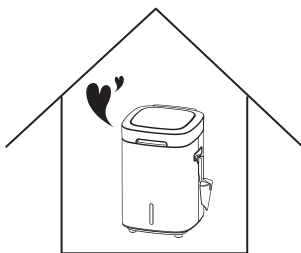
- 床面に水があると感電リスクがある為、ブロック等を設置し、床面から10cm以上あけて設置してください。



- 生ごみの投入後、内部と外部の温度差により蓋に水滴が発生することがあります。微生物の発酵時に発生する水滴であり、除湿不良ではありません。



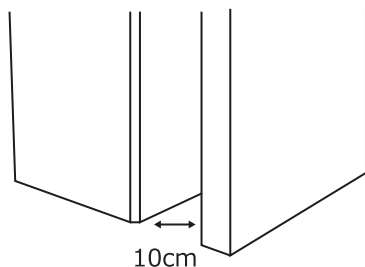
- この製品は屋内用です。
(屋根付きのベランダは可能)
室内温度が氷点下にならない場所に設置してください。



- 水浸しの場所、水道周辺、雨ざらしになるなど、設置しないでください。



- 背面が壁になる場合、約10cm以上のスペースをあけて設置してください。



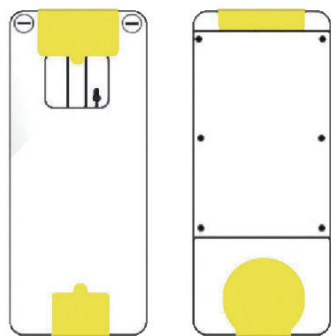
- 床面が平坦なところに水平になるように設置してください。**(振動、騒音、悪臭及び故障の原因になります。)**



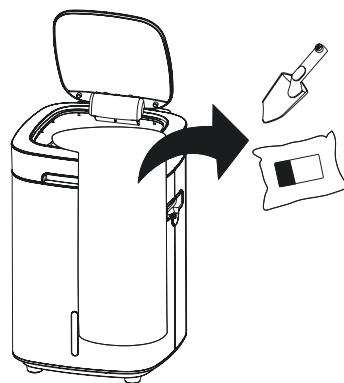
I. 使用準備

2. ご使用前の準備

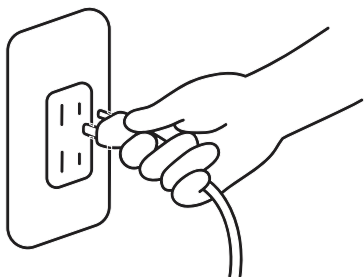
1 活性炭フィルターのステッカーをはがします。



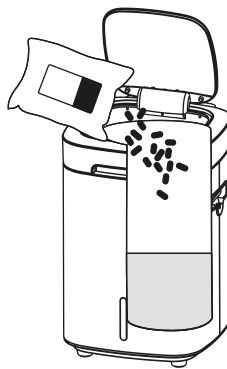
2 ドラム内部のバイオフィレック等の付属品を取り出す。



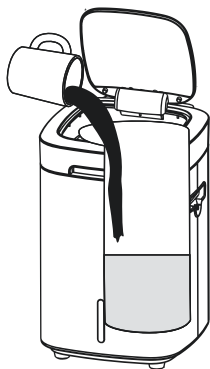
3 コンセントにプラグをさして電源ボタンを押す。



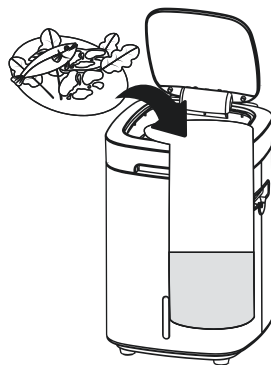
4 バイオフィレックをドラムの中にすべて入れる。



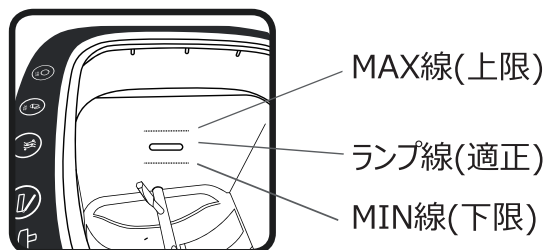
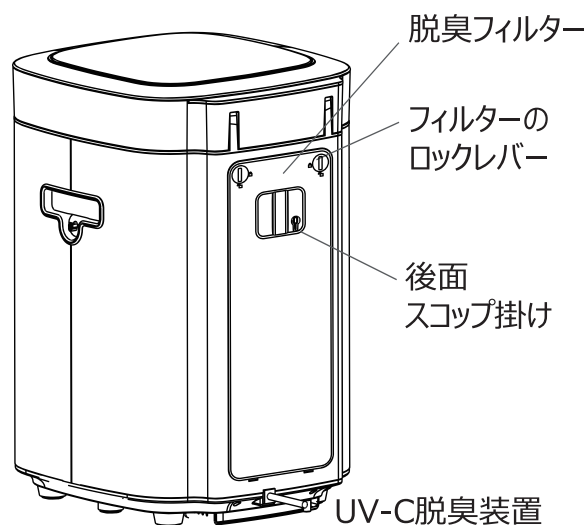
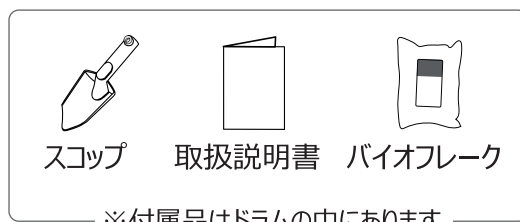
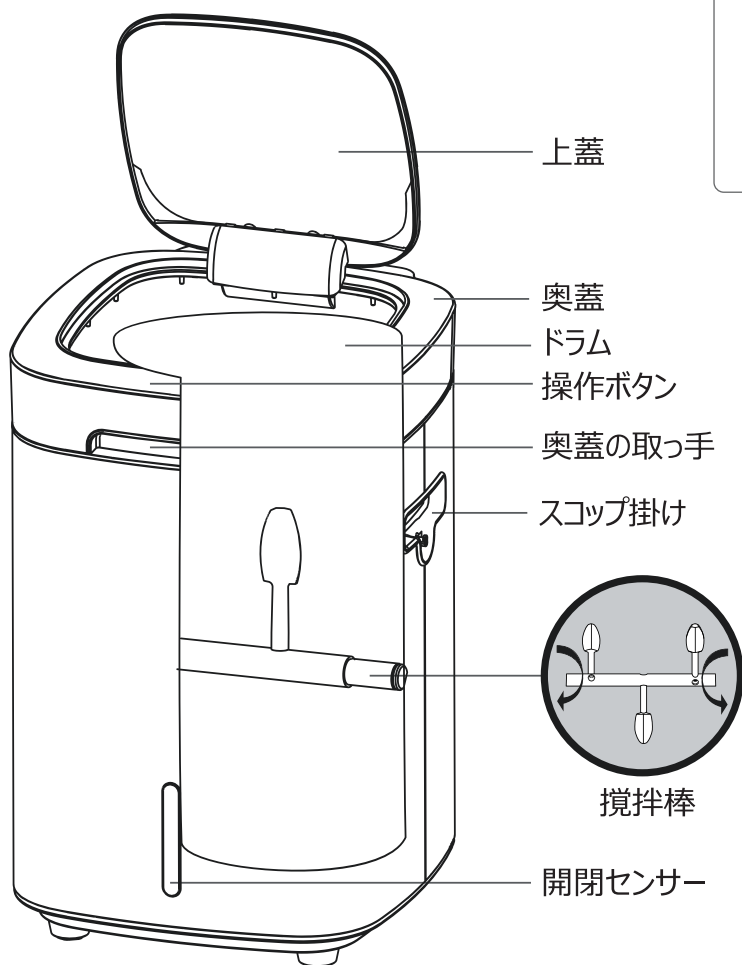
5 水を1.5～1.8Lを入れてふたを閉める。



6 24時間が過ぎた後、生ごみを入れる。



II. 各部の名称・ボタン表示



コントロールパネル



電源ON/OFF

電源が常にONにしておいてください。ただし、点検や修理の際は、必ず電源を切りプラグを抜いてください。



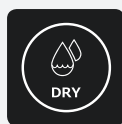
脱臭

ニオイが強い場合、ボタンを押すとニオイが軽減できます。24時間後に自動でオフになります。



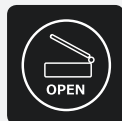
点検

製品異常が発生した際、機能を示すボタン別に赤色LEDが点滅・アラート音が鳴ります。その場合、当社のお客様センターにお問い合わせください。機能別の点検事項については25ページをご参考ください。



除湿

ドラム内部が水分過多状態になった場合、除湿を行うことができます。24時間後に自動でオフになります。



オープン

上蓋が自動で開閉します。



オープン防止機能 (開閉センサー、オープンボタン全てロック)

子どもやペットの動きなどで自動で上蓋が開閉しないようにロックすることができます。3秒間OPENボタンを押してください。

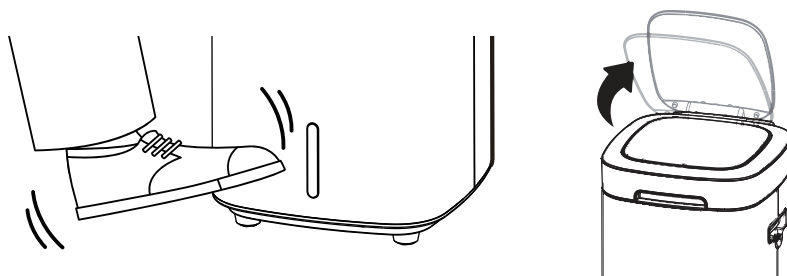
III. 使用方法

1. 上蓋を開ける方法

方法

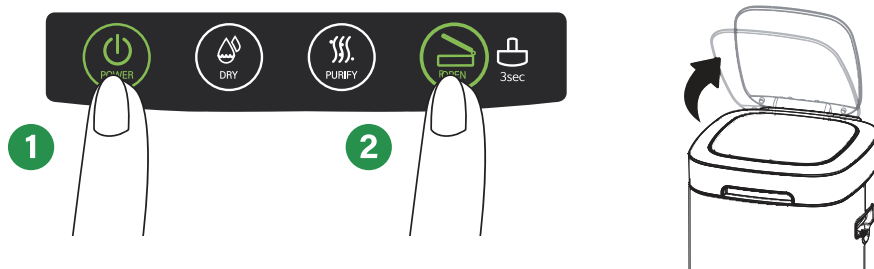
- 1** センサーを手足で2~3秒かざすと自動でふたが開きます。

センサー動作の際、前面ランプが緑色に点滅します。設置環境の照度によってセンサーの認識速度が異なります。



方法

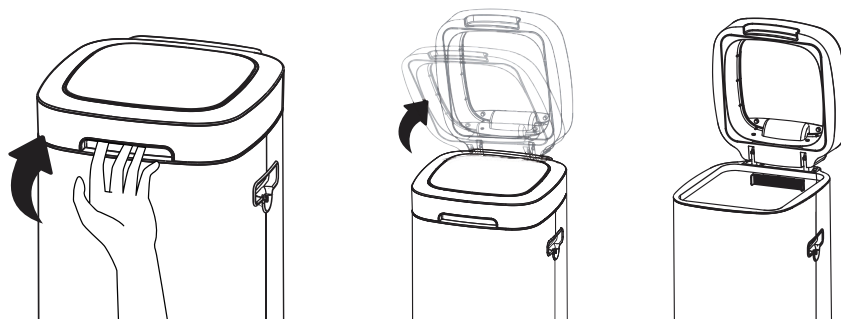
- 2** 電源を入れた状態でオープンボタンを押すと、上蓋が開閉します。



2. 奥蓋を開ける方法

奥蓋の取っ手に手を入れて上に開けると、奥蓋が開きます。

※奥蓋を開ける際に出るカチッと音が鳴る場合がありますが正常な音です。



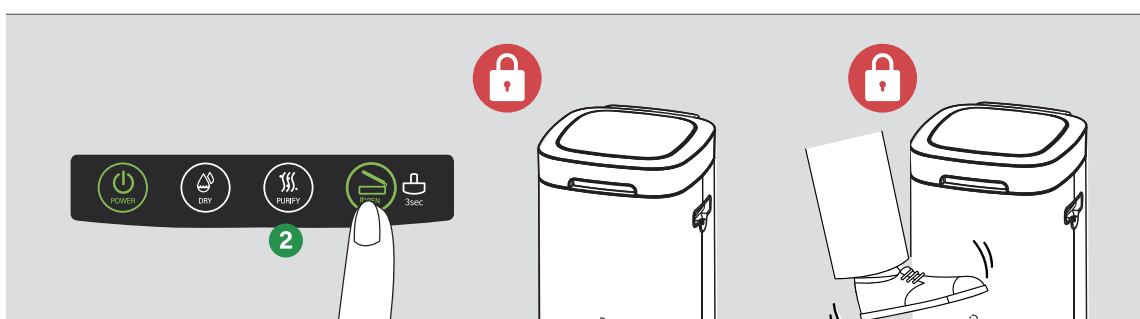
III. 使用方法

3. 自動開閉センサーのオンオフ



自動開閉センサーのロック方法：3秒間OPENボタンを押す（1回目）

電源を入れた状態でオープンボタンを3秒間押すと、アラート音とともに下部センサーに赤色LEDが点滅し自動開閉センサーがロックされます。ロック状態では自動開閉センサーで上蓋を開けることができず、オープンボタンを押すことで上蓋を開けることができます。



自動開閉センサーとオープンボタンのロック方法：3秒間OPENボタンを押す（2回目）

自動開閉センサーがロックされた状態でオープンボタンを3秒間押すと、アラート音とともに下部センサーに赤色LEDが点滅し、オープンボタンがロックされます。**ロック状態では、自動開閉センサーとオープンボタンともに上蓋を開けられないようになり、全体がロック状態になります。**



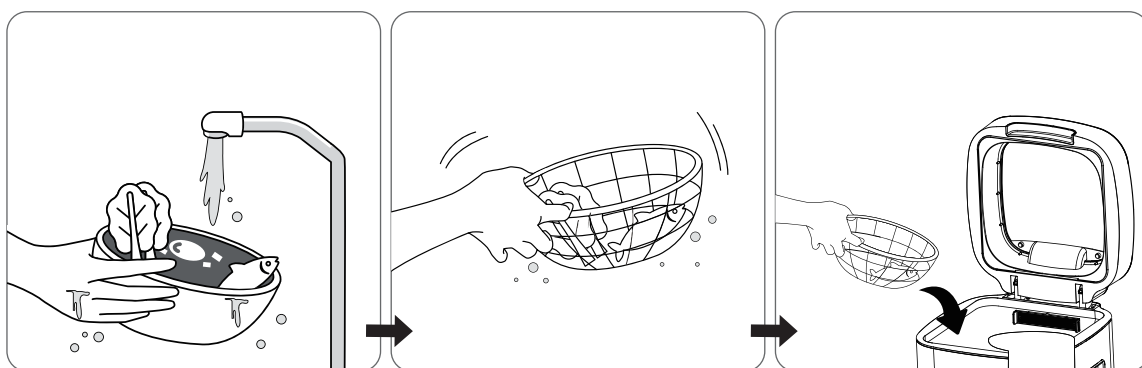
ロック解除方法：3秒間OPENボタンを押す（3回目）

自動開閉センサーとオープンボタンの全体ロック状態で、オープンボタンを3秒間押すと、アラート音とともに**自動開閉センサーとオープンボタン全てがロック解除され、使用可能になります。**

III. 使用方法

4. 生ごみを投入してみよう！

1 生ごみは水気が多すぎる場合は、水気を切り、上蓋、または奥蓋を開けて生ごみを入れます。



生ごみを投入する際の注意点

■ 1日の投入量を必ずお守りください。

1日適正1kg、1日最大1,7kgを投入

■ 生ごみが出たら、その都度投入が可能です。

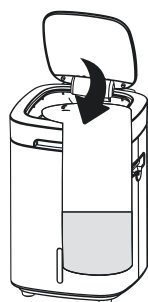
■ おすすめの投入方法

① 大きいものはカットして少しずつ入れていただく方が早く分解されます。

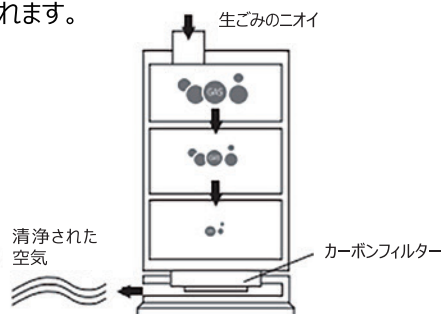
② 調理された食材、味付けソースが多い料理、塩辛、納豆などの生ごみは水で一度洗ってから投入していただくと、適正なバイオフィークの状態が維持されやすいです。

③ 投入した生ごみの処理速度やニオイの強さは、生ごみの投入量や水分量、バイオフィークの状態によって変化します。(詳細については13ページをご参考ください)

2 上蓋、または奥蓋を閉めると、自動で生ごみを混ぜてドラム内を最適な状態に保ちます。

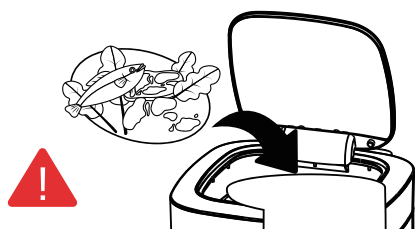


3 生ごみを入れてから24時間が過ぎると、ほとんどが発酵、分解され、水分と悪臭は脱臭装置によって水蒸気や清浄された空気となって排出されます。



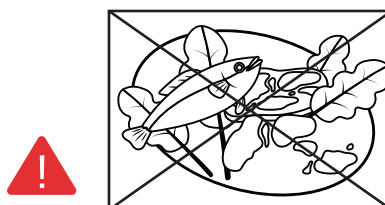
III. 使用方法

5. ケースに合わせた使用方法



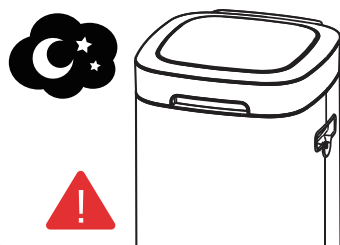
投入したい生ごみの量が多い場合

生ごみ量が多い場合は、数回に分けて入れてください。(特に多くの生ごみが発生した場合は、生ごみと一般ごみを分別してください。)



ドラム内部の水気が多くベタベタの状態

DRYボタンを押し、バイオフィレックの状態が土のようにさらさらになるまで、生ごみを入れないでください。(ドラム内部が乾燥した状態になってから、生ごみを入れてください。)

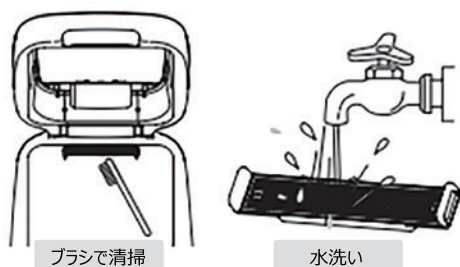


長期間使用しない場合

詳細については23ページをご参考ください。

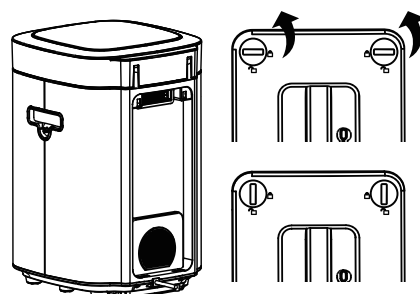
※短期間使用しない場合は、平常通り電源を入れておいてください。(24時間後に自動節電モードに入ります。)

6. メンテナンス



ドラム内部の排気フィルターの清掃

排気フィルターはブラシでこまめに清掃してください。排気フィルターは外して水洗いができます。
(週に1度の清掃を推奨)

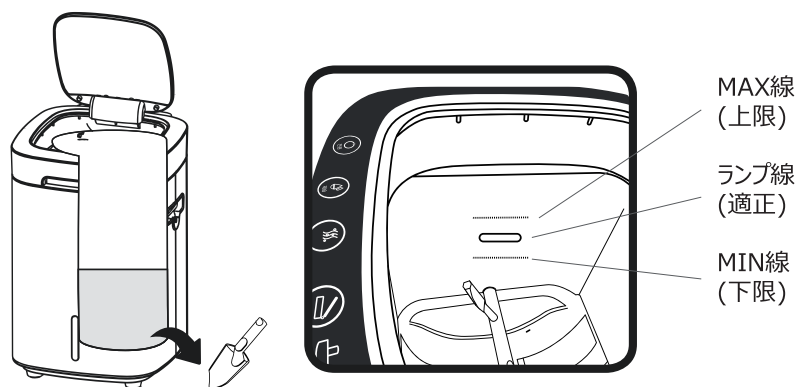


活性炭フィルターの交換

脱臭フィルターは両側のレバーを反時計方向に回すと取り外すことができます。また取り付ける際には、時計方向に回すと取り付けることができます。脱臭フィルターは公式ストアよりご購入いただけます。(9～12か月を目安に交換を推奨)

III. 使用方法

6. 副産物(堆肥・バイオフィーク)の取り出し



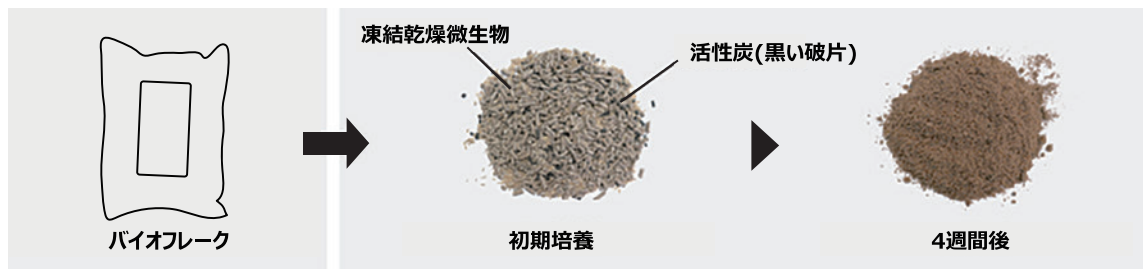
副産物(堆肥・バイオフィーク)の量は、内部ランプ線の辺りが適正な状態です。MAX線まで副産物がたまった場合は、MIN線まで取り出してください。

取り出した副産物は、燃えるゴミ(自治体による)もしくは、土壌活性資材として家庭菜園やガーデニング等でご活用ください。

IV. バイオフィレークの管理と堆肥としての利用について

1. バイオフィレークの管理方法

お届け時点のパッケージに入っているバイオフィレークは、ペレット状の凍結した乾燥微生物になっています。水を投入し利用を開始すると、サラサラとした茶色の土になります。バイオフィレークの適切な状態は、手でバイオフィレークをひと掴みしていただいた際、少しまとまるが、強く握るとパラパラと崩れる程度が理想的です。



水分が足りず乾燥した状態になると、バイオフィレークがサラサラとした状態になり、細かな粉が舞いやすくなります。また、排気フィルターも汚れやすくなります。乾燥した場合は、水分があるものを投入してください。逆に水分が多い場合は、バイオフィレークが固まりモチモチした状態、もしくはドロドロとした状態になります。この状態では正しくゴミを分解しませんのでご注意ください。

また、ニオイも発生しやすくなります。

この状態になった場合は、バイオフィレークのモチモチ・ドロドロとした状態が改善するまで追加でゴミの投入をお控えください。そして、除湿ボタンや脱臭ボタンも併せてご利用ください。

排気フィルターが汚れている場合は、清掃を行ってください。トイレtpーパーやティッシュペーパーなどの紙類(以下で解説)を投入することで、微生物の健康状態が改善しますのでこちらもお試しください。

2. バイオフィレークに含まれている、ゴミを分解する微生物の勉強

Reencleを快適にお使いいただくために、**ゴミを分解する微生物の特性を理解いただくことでニオイで困ることなく、微生物が効率よくゴミが分解できる状態を維持しやすくなります。**

■ 微生物の健康状態を整えるためのポイント

①**温度管理**：微生物が一番元気で分解力が上がる温度があります。Reencleはドラムの中を常時45度～60度で管理を行っておりReencleの微生物に最適な温度になります。

②**適切な水分量**：バイオフィレークが全体的に少し湿った状態が最適です。湿度が高すぎても低すぎても最適とは言えません。

③**酸素の供給量**：微生物は生き物であるため酸素を取り込んで分解を行います。Reencleでは攪拌を行い微生物に酸素を送ります。排気フィルターが目詰まりしている場合は、空気の通り道がなくなりますので定期的なメンテナンスを行ってください。

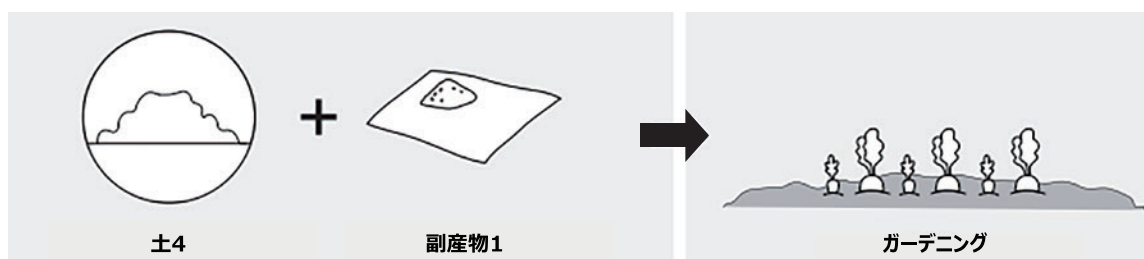
④**C/N比(炭素・窒素比)**：バイオフィレークや投入したゴミに含まれる「炭素(C)」と「窒素(N)」の割合を表す数値です。一般的に投入されるゴミは「窒素(N)」が強いものが多く、窒素(N)によることで処理能力やニオイが強くなる場合があります。

その場合は、炭素(C)が多く含まれているティッシュペーパー・段ボール・トイレtpーパーなどの紙類を投入することで、C/N比が安定し微生物の健康状態が良くなる場合があります。

IV. バイオフィークの管理と堆肥としての利用について

3. Reencleの副産物を堆肥や土壌改良資材として利用する方法

- ①取り出した堆肥は、**土4：副産物1**の割合にすることでちょうど良い堆肥の割合となります。Reencleから取り出したばかりの副産物は、植物によって刺激が強すぎるため最低3週間ほどは外気で寝かせて熟成させることがポイントです。
- ②落ち葉や使い終わった作物の残渣処理、土の再生目的であれば、すぐに利用を始めて問題ございません。
- ③家庭菜園や畑でReencleの副産物をご利用される目的の方は、Reencle公式ブログにて詳しい内容をご確認ください。



V. 投入できるもの・できないものについて

種類	投入可否	備考
たまねぎ(可食部・皮)	○	
レタス	○	
キャベツ	○	
白菜	○	
ほうれん草	○	
こまつ菜	○	
とまと	○	
ナス	○	
アスパラガス	○	
おくら	○	
かぼちゃ生(種)	○	攪拌時に音が発生する可能性があります。
かぼちゃ(可食部・皮)	○	
きゅうり	○	
ししとう	○	
アボカド種	×	
そら豆皮	○	
枝豆皮	○	塩抜きが必要です。塩分が多いと分解を微生物が弱ってしまう場合があるため、過剰な投入はお控えください。
加熱済み野菜	○	
米ぬか(糠床)	△	塩抜きが必要です。塩分が多いと分解を微生物が弱ってしまう場合があるため、過剰な投入はお控えください。
米ぬか	○	
銀杏(可食部)	○	
銀杏(殻)	△	攪拌時に音が発生する可能性があります。分解に時間がかかるため、過剰な投入はお控えください。

V. 投入できるもの・できないものについて

種類	投入可否	備考
ネギ	○	
にんじん	○	
じゃがいも	○	
さつまいも	○	
里芋	○	
長芋	○	
ごぼう	○	
大根	○	
昆布	○	
昆布(乾物)	△	攪拌棒に絡んで分解を阻害する可能性があるため、過剰な投入はお控えください。
ひじき	○	
海苔	○	
わかめ	○	
しいたけ	○	
しめじ	○	
エノキ茸	○	
エリンギ	○	
スイカ・メロン皮	○	
バナナ・いちご	○	
ぶどう	○	
柑橘系の皮	△	柑橘系に含まれる揮発性物質がニオイの原因になるため、過剰な投入はお控えください。
みかん(皮・種)	△	柑橘系に含まれる揮発性物質がニオイの原因になるため、過剰な投入はお控えください。

V. 投入できるもの・できないものについて

種類	投入可否	備考
りんご・なし	○	
かき(可食部・皮)	○	
パイナップルの皮	○	
パイナップルのヘタ	△	攪拌時に音が発生する可能性があります。
かき(種)	△	攪拌時に音が発生する可能性があります。
ももの種	×	
生肉	○	分解に時間がかかります。
加熱済み肉	○	
鶏骨(手羽元)	×	
鶏骨(手羽先)	△	攪拌時に音が発生する可能性があります。
豚骨(スペアリブ、豚足など)	×	
牛骨(Tボーン、テールなど)	×	
卵の殻	○	分解に時間がかかります。
生魚	○	分解に時間がかかります。
少量の魚の内臓	○	大量に入れないように注意！流水で血を洗い流してから投入してください。湯通しすると分解が早まります。
30cm以下の魚(頭・骨)	○	
30cm～50cmの魚	○	頭を割って投入してください。 攪拌時に音が発生する可能性があります。
50cm以上の魚(頭)	△	
50cm以上の魚(背骨)	△	攪拌時に音が発生する可能性があります。
エビの殻	○	
カニの甲羅・足	△	攪拌時に音が発生する可能性があります。
あさり・しじみの殻	×	
貝類の可食部	○	

V. 投入できるもの・できないものについて

種類	投入可否	備考
いか・たこの可食部	○	
かつお節(削り節)	○	
ヨーグルト	○	
廃油	×	
残飯・腐った食べ物	○	投入可の食べ物に限ります。
カビが生えた野菜・パン・ご飯	○	
カレー・鍋・煮物・味噌汁	○	
お茶っ葉・コーヒーカス	○	
ティーパック・出汁パック	○	
納豆	○	
漬物・塩辛・調味料	△	塩分が多いと分解を微生物が弱ってしまう場合があるため、過剰な投入はお控えください。
ペットのうんち	○	抗生物質を投与してから1～2週間は投入しないでください。 うんちに残った薬品が微生物に悪影響を及ぼす恐れがあります。
猫砂(自然由来無添加)	○	
猫砂(薬品配合)	×	
繊維質の強くない雑草	○	
繊維質の多い雑草・枯葉	○	
仏花・花	○	
紙皿・紙コップ	○	
ゴム・金属	×	
新聞紙	○	
木片・紙類 (ティッシュ・チラシなど)	○	
プラスチック・ビニール袋・ 水切りネット	×	

V. 投入できるもの・できないものについて

▶ その他、投入できるもの・できないもののリストは、Reencle公式ブログにも公開しています。

※情報にアップデートがあった場合、公式ブログに最新の情報を公開いたします。
情報に相違があった場合は公式ブログを優先にご確認をお願いいたします。



VI. 注意事項

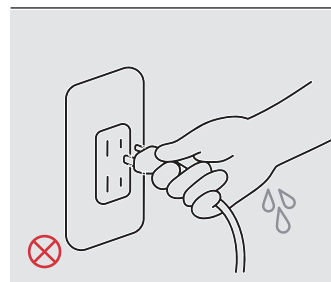
安全に関する内容なので、必ずお守りください。注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。



絶対に製品を分解・改造しないでください。
(けが、火災、感電などの原因になります。)



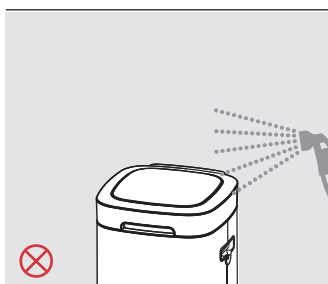
子どもが製品の上に登ったり、中に入ったりしないようにしてください。子どもが製品を使って遊ばないようにご注意ください。
(深刻なけがの原因になります。)



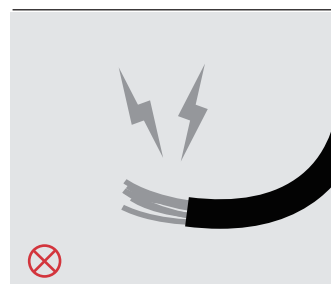
ぬれた手でコンセントを差したり、触ったりしないでください。
(感電のリスクがあります。)



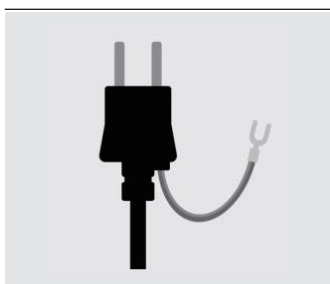
雨水や水道がある水周りには設置しないでください。
(感電や事故の原因になります。)



水で掃除しないでください。
(電気装置があるため、感電や故障の原因になります。)



電源コードが製品に押されたり、鋭いものに当たらないようにしてください。
(感電や火災の原因になります。)



コンセントは、必ず日本専用のものをお使いください。



子どもやペットがバイオブレークを食べたり、触ったりしないようにご注意ください。
(人体に無害なものです、食用ではありません。)



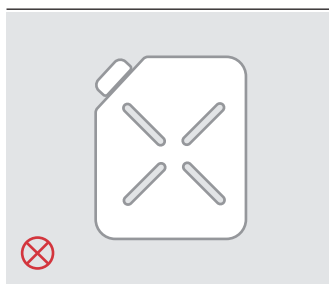
コントロールパネルを遊びで押したり、分解したりしないでください。
(故障やけがの原因になります。)

VI. 注意事項

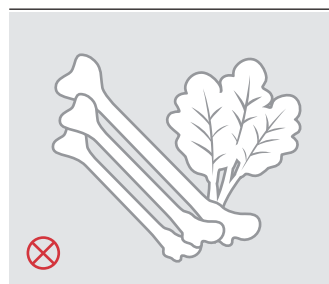
安全に関する内容なので、必ずお守りください。注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。



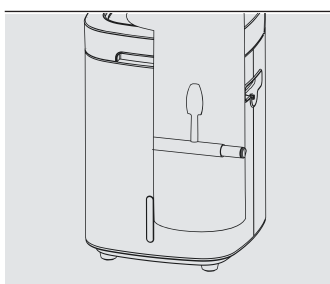
高齢者・子ども・障害者の場合、製品設置はお控えください。
(けがのリスクがあります。)



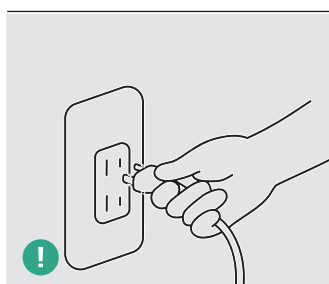
掃除の際、ガソリン・シンナーなどの可燃性物質を使わないでください。
(火災や爆発の原因になります。)



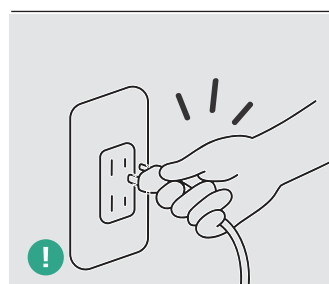
豚骨・牛骨などの硬くて大きな骨は投入しないでください。
ひも、輪ゴムなどを投入しないでください。
(攪拌棒の作動妨害や致命的故障に可能性があります。)



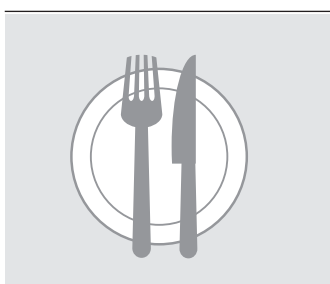
攪拌棒は強引に回転させないでください。攪拌棒にかかった異物を除去する前に電源を切り、電源プラグを抜いてください。
(手のけがや故障の原因になります。)



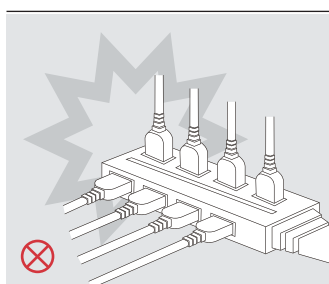
この製品は100V・110V専用製品です。必ず確認の上お使いください。



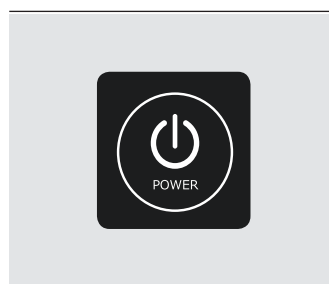
コンセントに差し込む際は、必ずプラグを持って安全に使用してください。



コップや食器(ナイフ類)など、硬い異物が入らないようご注意ください。



一つのコンセントで複数の機器を同時に使わないでください。
(加熱、過負荷の原因になり、火災の危険があります。)



電源は常にON状態にしてください。
(自動節電機能があります。)

VII. 製品に関するよくある質問

Q. ふたを開けたら水蒸気が出て、ふたや壁面に水滴が付いています。

A. Reencleの内部温度は微生物が活動に適した45～60度で維持されるようになっています。初期培養時に1.5～1.8Lの水を入れたり、生ごみ分解の際に発生する水分と、内外の温度差によって水蒸気や水滴が発生する可能性があります。これは製品の異常ではなく、自然な現象です。

Q. 内部壁面や攪拌棒にカビが生えました。

A. 製品の壁面や攪拌棒にカビが生えることがあります。これは微生物に全く問題がない現象です。付属のスcoopで目で見集めた後、数時間後に確認すると、カビが分解されたことが確認できます。内部壁面をきれいに維持すると、カビが生えることを防止できます。

Q. 隅や壁面にバイオフィレークがたまり、固まっています。

A. 攪拌棒は真ん中で回転しています。構造上、隅まで攪拌棒が届かないところがあり、副産物が発生するとそこで隅や壁面にバイオフィレークがたまり固まっていることがあります。壁面の微生物は付属のスcoopでかき出し、攪拌棒によってよく混ざるようにした後、生ごみを投入してください。

Q. バイオフィレークからニオイがします。

A. 基本的に微生物の健康状態が悪くなっている可能性がございますので、ニオイが収まるまでゴミの投入はお控えください。ただし、紙類の投入でニオイが収まる場合があります。また、脱臭ボタンをご利用ください。一般的には上記で改善ができますが、さらに改善を行いたい場合のために専門的な内容も記載させていただきます。

①腐敗臭（卵の腐ったようなニオイ）やドブ臭・アンモニア臭がしたとき

- ・除湿を行う：脱臭ボタンをご活用いただき、なるべく水分が多いゴミの投入はお控えください。
- ・通気性を上げる：通気性が悪く排気フィルターが目詰まりしている可能性があります。
- ・炭素（C）を増やす：ティッシュペーパー・トイレtpペーパーなどの紙類を追加で投入してみてください。

②ツンとした発酵臭（酢酸・アルコール臭）がしたとき

酸っぱいニオイはバイオフィレークが酸性に働いています。をpHを調整中和することでバイオフィレークが安定するため、アルカリ性が強い「卵の殻」「石灰」「木灰」を追加投入することで改善が見込まれます。

上記以上の専門的な内容をご希望される方はReencle公式ブログをご参照ください。

VII. 製品に関するよくある質問

Q. 長期不在にするとき、バイオフィレークはどうすれば良いでしょうか。

A. Reencleは常時稼働させて使う製品です。

短期の旅行で2～3日家を空ける場合、内部が乾燥状態であれば水を入れてバイオフィレークが乾燥しないようにしてください。

7日以上不在にする場合、2～3日前から生ごみ投入を控え、内部に残っている生ごみを完全に分解させた後、家を出る当日に電源を切り、電源コードを抜いてください。Reencleを長い間使用しなかった場合は、再度初期設定と同じように水の投入を行うところから始めてください。

※平常の生ごみ投入量が少ない場合

微生物の水分が維持されずに乾燥してしまうと、微生物が孢子状態に戻り、非活性化されて眠ることになります。乾燥する場合分解力が悪くなる可能性があるため、水をかけて活性化させてください。

Q. 生ごみを投入しないと微生物は死にますか。

A. Reencleのバイオフィレークは、特許を取得したオリジナルのもので1年程度は生ごみを投入しなくても水分だけで維持すれば生き残ります。Reencleのバイオフィレークは培養物と乳酸菌を活用した培養環境を提供します。

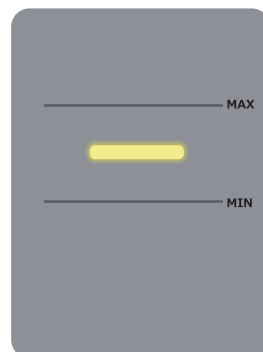
Q. バイオフィレーク + 副産物はいつ取り出せばいいでしょうか。

A. ドラム内部に3種類の線があります。

最低バイオフィレークを維持しなければならないMIN線、常時バイオフィレークを維持しなければならないランプ線（内部照明）、バイオフィレークが最大にたまるとすぐ取り出さなければならない量を示すMAX線です。

普段はバイオフィレークをランプ線まで維持してください。微生物 + 副産物がMAX線まで溜まるとMIN線まで取り出してください。

※内部照明を通るほどバイオフィレーク + 副産物が溜まると、MIN線まで取り出してください。



Q. ペットや子供がReencleの前を通るので自動開閉センサーをオフにしたい

A. Reencleは自動開閉センサーのオンオフ機能がございます。設定方法は、Ⅲ使用方法 自動開閉センサーのオンオフ(9ページ)をご参考ください。

VII. 製品に関するよくある質問

Q. Reencleのバイオフィレークの特徴は何でしょうか？

- A. 一般に微生物は塩分と酸の強い環境で生きることができません。
しかし、Reencleのバイオフィレークは高塩分と強酸性の環境でも処理できる特別な成分を用いています。
大きく3種類の微生物が配合されて、塩に強い好塩基菌、酸に強い酸性菌、熱に強い好熱菌が含まれています。特許取得済みの成分を含むReencle専用開発された微生物群であるため、他の製品で使用される一般的な微生物とは異なり食品廃棄物の処理分解に特化しています。

微生物以外にも、ニオイの抑制に繋がる「活性炭」、通気性の向上や水分管理を安定化するための「木製ペレット」、初期の微生物を活性化させるための起爆剤として「グルコース」が配合されています。

Q. ベランダやデッキでの使用は可能ですか？

- A. Reencleは室内ではなく、室外でも利用可能です。しかし、必ず雨のかからない場所で管理を行ってください。家電製品の為、感電や故障のリスクがございます。

Q. 冷凍食品は入れても良いですか？

- A. 冷凍食品は、ドラムの中の温度を下げるため、バイオ（微生物）が孢子状態（休眠状態）となり、バイオの状態を悪化させる可能性があります。また、冷凍食品は固いため分解しにくく、ドラムの中の攪拌棒を傷める原因にもなります。必ず解凍してからドラムの中に入れてください。

Q. カバーを開けるとReencleは動作を停止しますか？

- A. 安全対策のため、攪拌棒はカバーが閉じられているときのみ作動します。

Q. 微生物の中の黒い破片は何ですか？

- A. 黒い破片は活性炭です。活性炭は、培養初期にバイオ（微生物）に酸素を安定的に供給するとともに、脱臭の役割を果たしているため、取り除かないでください。活性炭は若いバイオ（微生物）が内部の環境に早く適応するのに役立ちますが、活性炭がなくても分解能力には影響しません。

Q. Reencle のお手入れ方法を教えてください。

- A. 機械本体は必ず水洗いしないでください。家電製品のため故障します。ドラムの中が汚れている場合は、ウェットティッシュで拭いてください。
ドラムの中のフィルターは、土やゴミがついている場合もあり脱臭効果にも影響がありますので定期的に清掃を行ってください。

VIII. 消耗品交換・警告アラート

1. 点検事項とアラート音

アラート状態	原因	対処方法
オープンボタンの点滅 10秒間隔で音が発生	蓋が開いている	蓋を確実に閉める
脱臭ボタンの点滅 10秒間隔で音が発生	ファンモーターの異常	お客様センターに連絡する
除湿ボタンの点滅 10秒間隔で音が発生	ドラムヒーターの異常	お客様センターに連絡する

- ※ 製品異常が発生した場合、当社のお客様センターにお問い合わせください。
- ※ 製品修理・改造が原因で発生した全ての事故に関して当社は責任を負いません。

IX. 保証書

1. 保証書と仕様

保証書

製品名	Reencle Prime	保証期間
モデル名	RC-Prime300	お買い上げ日より 1年
製造番号(プロダクションコード)		
購入日付	年 月 日	
購入先		
お客様の住所		
お客様の名前		
電話番号		年 月まで

- ※ この製品に対する保証は日本国内でのみ有効です。下記のように製品に対して保証し、サービス要請の際は、本社お客様センター及び指定A/Sセンターで実施します。
- ※ この製品の無償保証期間は1年であり、購入日から算定されるので、購入日を必ず記載してもらってください。(ただし、表記がない場合は、製造日から6か月が経過した日を品質保証期間とします。)

- ※ この保証書は再発行いたしませんので、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ※ 品質保証期間：1年
- ※ 主要部品の保有期間：3年

製品仕様

処理方式	ハイブリッド式
外形寸法	W305 × D331 × H467 (mm)
製品重量	9.1kg
分解容量	1日適正1kg、1日最大1.7kg
定格電圧	AC100V/110V、50/60Hz
消費電力	最大130W(平均消費電力：52W)
騒音	25dB以下
脱臭方式	脱臭フィルター

IX. 保証書

2. 類型別補償

消費者被害類型		保証期間以内	保証期間以後
正常な状態で発生した性能・機能上の故障がある場合	購入後10日以内に重要な性能、機能上の重要な修理を要する場合	製品交換または購入価格の払い戻し	該当なし
	購入後1か月以内に重要な性能、機能上の重要な修理を要する場合	製品交換または無償修理	該当なし
	製品購入時の運送過程及び製品設置の途中に発生した故障	製品交換	該当なし
	交換が不可能な時	購入価格の払い戻し	該当なし
	同じ故障が2回発生した時	無償修理	有償修理
	同じ故障が3回発生した時	製品交換または購入価格の払い戻し	有償修理
	消費者が依頼した製品を事業者が紛失した場合	製品交換または購入価格の払い戻し	定額を減価償却した金額に10%を加算して払い戻し
	部品保有期間以内に修理用部品を保有していない場合	製品交換または購入価格の払い戻し	定額を減価償却した金額に5%を加算して払い戻し
	天災地変(火災、ガス、地震)などによる故障の発生時	有償修理	有償修理
	他の修理技師や消費者が直接修理・改造した場合	有償修理	有償修理
	消耗性の部品及び正常の摩耗	有償修理	有償修理
	その他、外部要因による故障	有償修理	有償修理
消費者の故意・過失がある場合	電気容量を間違って使用した場合	有償修理	有償修理
	設置後の移動などの転落による故障	有償修理	有償修理
	当社指定品ではない他の部品を使用した場合	有償修理	有償修理
	修理が不可能な場合	有償修理にあたる金額を受領後、製品交換	有償修理にあたる金額を受領後、製品交換
	修理が可能な場合	有償修理	有償修理
	微生物培養の失敗時	有償修理	有償修理
	内部排気フィルターが内部に流入されて破損した場合	有償修理	有償修理

お問い合わせ

Reencleについてさらに詳しい情報は公式ブログにて発信しています。



- Reencleの操作について
- 家庭菜園や畑での活用について
- Reencleが行うイベントについて
- 環境問題について など、随時お伝えしていきます。
是非、こちらもご覧くださいませ！



バイオフィレークの追加のご購入はこちらから

<https://reencle.net/products/bioflake>



活性炭フィルターの追加のご購入はこちらから

<https://reencle.net/products/carbon-filter>



LINEからお問い合わせを行う

<https://lin.ee/1pfAd60>



メールでお問い合わせを行う

reencle.japan@gmail.com

※カスタマーサポートは、この円安の中、商品提供価格を維持させていただく目的で少人数体制での管理を行っております。その為、お電話の受付は行っておりません。何卒ご理解ご協力をお願いいたします。



Prime Reencle